# 地域

色分けは各地区版の題字色に対応しています。

## こよみ

7月22日

▽1933(昭和8)年　米飛行家W・ポストが初の世界一周単独飛行に成功した。ニューヨークから東回りに7日と約19時間で戻った。

▽1976(昭和51)年　第2次大戦で日本がフィリピンに与えた損害賠償の最終支払い文書が調印された。東南アジアへの賠償支払いが完了した。

## 21日の天気

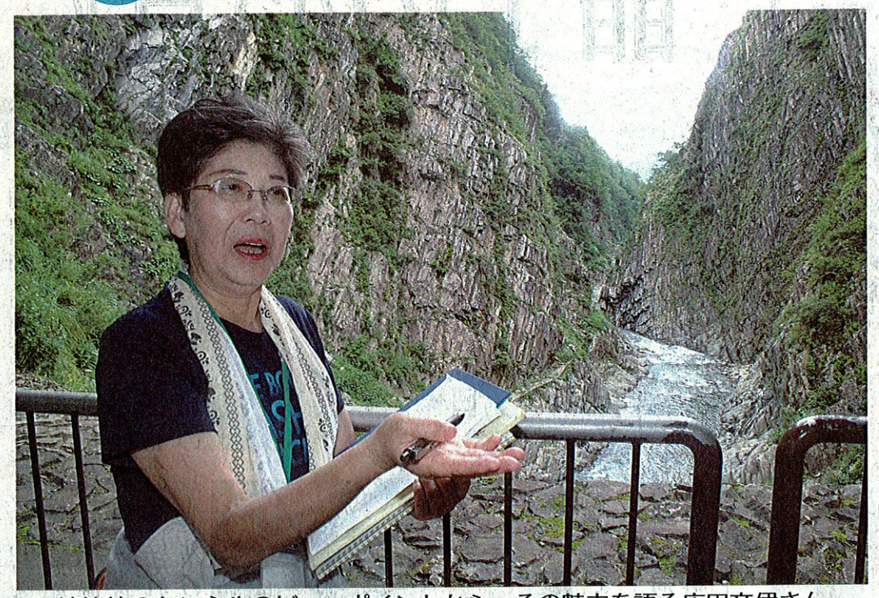
| | | 最高 | 平年 | 最低 | 平年 | 湿度% | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新潟 | | 26.4 | 29.0 | 21.5 | 22.4 | 61 | 曇 |
| 長岡 | 越 | 27.5 | 29.5 | 20.4 | 21.4 | | |
| 上越 | | 26.8 | 29.9 | 20.7 | 21.6 | 72 | |
| 佐渡 | | 25.7 | 27.5 | 19.6 | 21.7 | 59 | |
| 札幌 | | 27.6 | 25.5 | 17.5 | 18.0 | 63 | 曇 |
| 秋田 | | 26.8 | 27.2 | 18.5 | 20.5 | 71 | 曇 |
| 仙台 | | 23.6 | 26.4 | 19.1 | 20.2 | 65 | 曇 |
| 福島 | | 22.0 | 29.0 | 20.4 | 20.8 | 85 | 曇 |
| 東京 | | 24.3 | 29.8 | 20.9 | 22.4 | 98 | 雨 |
| 長野 | | 30.4 | 29.8 | 20.2 | 20.5 | 67 | 曇 |
| 甲府 | | 32.7 | 31.5 | 24.0 | 22.3 | 49 | 雨 |
| 静岡 | | 28.9 | 30.0 | 24.3 | 23.2 | 66 | 曇 |
| 名古屋 | | 33.4 | 31.5 | 24.7 | 23.6 | 47 | 曇 |
| 金沢 | | 28.1 | 29.6 | 22.0 | 23.0 | 67 | 曇 |
| 京都 | | 32.2 | 32.3 | 22.1 | 23.7 | 49 | 曇 |
| 大阪 | | 32.7 | 32.3 | 23.4 | 24.9 | 49 | 晴 |
| 広島 | | 32.5 | 31.6 | 24.2 | 24.4 | 56 | 晴 |
| 松江 | | 28.3 | 30.1 | 22.7 | 22.8 | 66 | 曇 |
| 高知 | | 31.6 | 31.4 | 24.3 | 24.0 | 67 | 晴 |
| 福岡 | | 30.9 | 31.6 | 24.4 | 24.9 | 68 | 快晴 |
| 鹿児島 | | 34.9 | 32.6 | 24.4 | 25.7 | 56 | 曇 |
| 那覇 | | 33.1 | 31.9 | 28.3 | 26.9 | 65 | 晴 |

太字の県内分は最高・最低気温とも0～15時。他は最高が0～15時、最低が前日21～9時。湿度、天気は15時現在。

## ひとこと

### 中里地域のガイドボランティア　広田(ひろた)　文伊(ふみい)さん(59)十日町市

# 自然の美しさ伝えたい


清津峡のトンネルのビューポイントから、その魅力を語る広田文伊さん＝十日町市小出

日本三大峡谷の一つともいわれる清津峡など、雄大な自然景観が魅力の十日町市中里地域。ガイドボランティアグループ「なかさと清津案内人」の一員として、23日から清津峡を中心に活動を始める。地元の魅力を伝えようと、準備に余念がない。

ずっと中里で暮らしてきた。しかし、豪雪地帯の厳しい自然環境には負の感情もあった。幼い頃は、冬になると寒さに耐えて雪を踏み固め、道を付ける毎日だった。長くて暗い冬のつらさが、自然の美しさを覆い隠しているように感じた。

「若い人が少なくなるのも当然。よその人が苦労して来るわけないと思っていた」。近年は「地域おこし協力隊」などの若者が移住して来るようになった。それでも、広報紙に載っていた「地域との交流が楽しい」「環境を大切にしたい」といった移住者の声には半信半疑だった。

転機は昨年末。協力隊として移住してきた若者と話す機会があった。「こんないい場所はありません」と熱く語る姿を目にし、心を動かされた。

「縁もゆかりもない若い人が地域を盛り上げようとしているのに、自分が何もしないのは情けない」と一念発起。「案内人」の募集に対し、パート勤めの傍ら「時間のある週末だけでも活動できれば」と名乗りを上げた。

清津峡の柱状節理の成り立ちや、ねじれた状態でそそり立つ「角間のねじり杉」にまつわる伝説、カモシカが現れる場所…。案内人養成の研修に参加すると、地元の魅力を再認識できた。

観光客に魅力を伝えるチャンスとも捉えている。清津峡は1988年の落石事故後、遊歩道が閉鎖され、現在はトンネルに設けられた4カ所のビューポイントからしか見ることができない。だからこそ、本来の美しさを多くの人に伝えたいと願っている。

重荷だと思っていた雪が大きな観光資源ということにも改めて気付かされた。「古里のために力を使い、良さをアピールしたい」。観光客を笑顔で出迎える日を待ち遠しく感じている。

火曜・金曜掲載

# 被災地思い枕作り

### 新潟・江南小6年生

### メッセージ添え熊本へ

熊本地震の被災者を支援しようと、新潟市東区の江南小6年生が20日、枕を手作りした。手書きのメッセージを添えて今秋、熊本県内の被災地に届ける予定だ。

手作り枕を被災地に贈る活動は、神戸市のNPO法人が提案。本県で取り組む新潟市のNPO法人理事長板倉未来さん(41)が、校区内に住む縁で働き掛け、江南小が参加した。

製作には、家庭科の時間を活用。児童はボランティアの手ほどきを受けながら、ミシンで布を縫い合わせたり、そば殻を詰めたりし、2クラスで約20個の枕

# 長岡花火チケット　あすから店頭販売

### 4500席・升、当日分を前倒し

長岡まつり大花火大会(8月2、3日)を主催する長岡まつり協議会は23日から、有料観覧席チケット約4500席・升を店頭販売する。先着順によるインターネット販売で代金の入金が確認できないケースが相次いだため、大会当日販売を前倒しする形で残席分を販売する。協議会事務局の長岡市まつり振興課は「チケットが必要な人に少しでも早く行き渡るようにしたい」としている。

ことしの有料観覧席の販売席数は両日で計約5万2千席・升。抽選販売で代金の入金が確認できなかったチケットなどを対象に、6月中旬からインターネット先着販売を実施したが、入金されないケースが予想以上に多かったという。

このため、協議会は23日午前9時から長岡市大手通1の「まちなか観光プラザ」で販売することにした。対象は升席(定員6人)、右岸ベンチ席、左岸いす席。2日約1500席・升、3日約3千席・升を販売する。

31日午後6時半まで(売り切れ次第終了)。チケットが残った場合は、大会当日に販売する予定。

問い合わせは長岡まつりチケットセンター、0258(35)9244。